

ホーム > マンホールカード第18弾41種を令和5年1月28日に配布開始

マンホールカード第18弾41種を令和5年1月28日に配布開始

公開日：2022年12月22日


UR都市機構やコミュニティ・プラントの蓋が新たに仲間に加わりました

GKP・下水道広報プラットフォームが企画・監修する「マンホールカード」第18弾のデザインが完成しましたのでお知らせします。第18弾のマンホールカードは令和5年1月28日（土）から各自治体（団体）による一斉配布を行います。第18弾では、初参画となる23自治体1団体を含む41種のカードを発行、第17弾から導入した農業集落排水事業の蓋に加え、UR都市機構やコミュニティ・プラントの蓋も仲間に加わりました。第1弾から数えて915種（649自治体・団体）のカードの累計発行枚数は1,000万枚に達することになります。北は北海道から南は沖縄県まで、地域の風物や可愛いキャラクターがカードになってシリーズに加わります。

なお、マンホールカード検索ページは2月中に順次更新する予定です。


新型コロナウイルス感染症対策の観点から、各自治体の皆様におかれましては、地域の実情に応じて配布の方法にご配慮ください。

配布場所や時間などについては、各自治体のホームページを必ずご確認ください。




千葉県
野田市

12-208-B001



36°01'32.9"N
139°49'14.4"E



880-235-24-2

デザインの由来




設置開始 2022年

千葉県立関宿城博物館と松

2003年野田市と合併した関宿町は、東は利根川を境に茨城県、西は江戸川を境に埼玉県と接する千葉県最北端の町でした。二つの大きな河川に挟まれて江戸時代から利根川水運の中継地として栄え、江戸の玄関口として川関所が置かれて譜代の大名が治めた、関宿藩の城下町です。マンホール蓋には、野田市指定史跡「関宿城跡」の北東、利根川・江戸川の分岐点にも近いスーパー堤防上にある、江戸城の富士見櫓を参考に復元された関宿城の三階天守（千葉県立関宿城博物館）、縁起が良いとされる常磐の緑が美しい松、未来にはばたく明るい町作りをめざす姿を象徴する町章が描かれています。

2301-00-001



いちいのホール

©GKP